

原子炉压力容器に対する供用期間中の破壊靱性の確認方法に関する 日本電気協会への説明依頼事項（その1）

1. PTS 評価に用いる破壊靱性評価遷移曲線に関する質問

次の（1）～（3）について、できるだけデータやグラフを用いて説明してください。

- （1）（8）式（「マスターカーブ法」をもとに、国内プラント用に策定した $[T_{r30}]$ を用いた式）と（10）式（「マスターカーブ法」をもとに、国内プラント用に策定した式）をPTS評価に適用できるかについて検討した内容を説明してください。
- （2）（8）式における ΔT_t 及び M_p 並びに（10）式における M_k を算出したプロセスについて、詳細が分かるような資料を提示して下さい。説明には、（10）式でマージンを2乗和平方根で表せるとした技術的根拠、 σ_M 、 σ 、 σ_{T_0} の設定根拠と計算プロセスが分かる資料を含んで下さい。
- （3）（10）式に未照射材の T_0 を適用できるかについて検討した内容を説明してください。（10）式に未照射材の T_0 を用いる場合、（8）式の ΔT_t のような鋼種毎の補正值の必要性について検討した内容を説明してください。また、（8）式と、（10）式に未照射材の T_0 を用いた場合との間にどのような差異があるのか実例で示してください。